

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度防波堤・護岸の改良工法検討業務
業務概要	本業務は、新設計波に対応して既存の防波堤や護岸の改良を消波ブロックを用いて実施する場合、越波量や伝達率等の所定の性能を満足する改良案についてCADMAS-SURF/2Dを用いて検討を行うものである。
契約担当官等の氏名 並びにその所属する 部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局下関港湾空港技術調査事務所長 八十島 義浩 下関市竹崎町4-6-1
契約年月日	令和4年11月16日
契約業者名	令和4年度防波堤・護岸の改良工法検討業務 沿岸技術研究センター・エコ設計共同体
契約業者の住所	東京都港区西新橋1-14-2（一般財団法人沿岸技術研究センター）
契約金額	39,930,000円（税込み）
予定価格	39,974,000円（税込み）
随意契約による こととした理由	<p>本業務を円滑に遂行するためには、防波堤の伝達波や護岸の越波における特性について幅広く情報収集が出来る能力を有している事に加え、防波堤改良断面や護岸の越波特性の把握に関して検討、評価が行える高度な技術力や豊富な経験が必要である。</p> <p>以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明者においては、予定技術者の経験・能力（技術者資格等、業務執行技術力）、発注者の要請に対する適格性・迅速性に関する本業務の実施体制及び本業務に関する特定テーマに対する技術提案書の提出を求めることで、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、令和4年度防波堤・護岸の改良工法検討業務沿岸技術研究センター・エコ設計共同体が最適であると判断されることから、上記設計企業体と会計法第29条の3第4項に基づき、随意契約を行い円滑な遂行を図るものとする。</p>
業務場所	—
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和4年11月16日
履行期間（至）	令和5年3月24日
備考	